

日 時；平成22年2月27日（土）13：30～16：45

会 場；キャンパスプラザ京都6F 京都学園大学教室

参加人数；16名

## 【プログラム】

### 1. 前回議事録の確認

橋本氏から要点について振り返りと説明がなされた後、文言・表現について意見交換、第1回目集会についての感想を述べ合い、それについての意見交換をフリートーク形式で実施した。

主な意見等は、以下のとおりである。

- 各技能士の熱意とともに、何かしなければ、という問題意識を持って参加されていることを感じた。
- それぞれの技能士の活動領域が幅広いということも実感した。同時に、一緒に活動することの難しさも想像できる。
- 各論の議論をしてゆくと、まとまりづらいと懸念するので、まずは関西支部としての「全体としてのまとまりと継続」を念頭において議論を進めれば、と考える。
- 技能士会の規定に基づけば、「資質の維持向上」が技能士会の目的であるので、それから考えると第1回目の議論は幅が広すぎると感じた。技能士会規定第2条との整合性をはかることも必要だと思う。
- 技能士の交流の場、楽しみにできるような人的交流の場、情報を得られる場でありたいと考える。
- 技能士会で営業活動をしてゆくようなイメージは持っていない。

### 2. 関西支部の世話人について

関西支部のこれからの活動を支え、また本部との連絡調整役としての役割を果たす関西支部としての世話人として、前年の10月に東京で承認された橋本俊作・田崎慎子両氏をお認めいただきたいこと、また、あわせて辻彰彦氏を両人のサポート役としてお認めいただきたいこと、が提案され承認された。

以上、出席者の総意により、関西支部としての世話人は、橋本・田崎両氏に辻氏を加えた3名体制とすることとなった。

### 3. 関西支部として取り組む事業 ～厚みと広がりを目指して～

様々な意見が出されたが、本日の議論の到達点として、次に掲げる2つのグループ（ワーキング？分科会？名称は今後検討）を創設し、次回の集会においてその内容を検討することが確認された。

#### （1）技能向上グループ

#### （2）地位向上グループ

※（1）技能向上グループ・・・勉強会（周辺知識、専門知識、話し合いの場、リファ-先・ネットワークづくり、情報収集の場）を検討する

例示としては、

①技能士として、自分の領域外の知識（横の広がり）を得る場にしたい。

実際の現場で何が課題で必要とされているのか、自分の領域外の課題、自分の領域との共通項の理解

②技能士の内輪で、各専門家（FP、社労士 etc）を講師とした向上研修

③ケーススタディ

④リファー先・ネットワークづくり

⑤情報収集の場として機能させる

※(2) 地位向上グループとは、キャリア・コンサルタント技能士がおかれている現状(待遇、雇用条件等)を共有し、問題点を把握し、方策を考えてゆく場としたい。一例としては、「大学」への働きかけを行うことが提案された。

※2グループのつながりを失わないような取り組みが必要。役割分担でフォローしたり、連携することが必要である、という意識を各人が忘れないことが肝要。

※技能向上と地位向上に向けての取り組みについては、参加者増につなげてゆくためにも、浸透時間が欲しい。

※やりたいこと、を出した上で、実現可能性を整理する。

※各人が主体的に何をするのか、グループにおいて「主体的に自分が活動する」意識を持って、内容について検討してもらいたい。

#### 4. 会場設営について

意見交換の後、次のことが出席者の総意として確認された。

●当面の間、京都・大阪・神戸で会場を回す。

●会場の選定は世話人に一任する。各技能士は、コスト&利便性に鑑みた会場情報の提供に努める。

●第3回目の集会から、暫定的に、「参加費」として、一律500円を徴収する。

◇会場が無料の場合でも参加費は徴収し、有料会場分の支出に備え、プールしておく。

◇会場が有料の場合は、当日の「参加費」を充て、不足する場合はプール金から支出する。

◇会計の処理方法は、世話人に一任する。

●第3回目 平成22年3月20日(土) 13:30~ 大阪にて

●第4回目 平成22年4月18日(日) 13:30~ 神戸にて

●当面は月に一度のペースで開催し、技能士会未加入者への広報効果、参加者増のきっかけづくりとする。

以 上